

症例

- 70代前半 女性
- 主訴：嗄声
- 現病歴：X年8月末に新型コロナウイルスに感染
急性期の症状は咳嗽が酷かった。急性症状の治癒後から声枯れが出現し、標準治療を受けるも改善なく、かかりつけの鍼灸院からの紹介で10月に当院受診。
- 悪化要因は声を使った後で、朝が一番調子が良い
- 2月に旅行したインドでも同様の症状があった

- 併存疾患：肺気腫、不眠症、逆流性食道炎
- 吸入薬：チオトロピウム臭化物水和物／オロダテロール塩酸塩製剤
- 内服薬：ゾルピデム、（屯用）ツムラ六君子湯

- 食欲や便通に問題はないが、食後に酸っぱい感じと消化が悪いことがある。時に口内炎が出来る
- 肺気腫により、階段昇降時に肩で息切れがし、また走ることも出来なくなった

- BMI: 21
- 舌：白薄苔
- 脈：細
- 血圧：120-80mmHg

- 2妊2産
- 既往歴に特記すべきものはない。
- 健康診断：正常範囲
- 薬剤アレルギーなし
- 喫煙歴はあるが、3年前から禁煙している